

## 病害虫発生予察 5 月月報

(生育概況及び病害虫の調査結果)

令和6年5月の気象表(長野地方気象台)

観測所名	区分	平均気温 °C			降水量 mm			日照時間 h		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
長野	本年	15.6	17.9	17.9	5.5	29.5	82.0	72.4	69.0	76.8
	平年	15.2	16.0	17.9	19.9	25.5	23.9	70.3	67.6	76.9
松本	本年	15.4	17.2	17.9	17.0	51.0	120.0	71.8	70.9	75.7
	平年	15.4	16.2	17.7	22.8	32.9	38.9	69.8	70.1	75.6
諏訪	本年	14.4	16.1	17.1	15.0	73.0	105.5	74.2	69.6	73.7
	平年	14.3	15.2	16.8	32.6	38.3	40.9	67.8	69.7	75.4
軽井沢	本年	11.2	12.6	13.9	33.5	45.0	76.0	74.5	70.0	70.7
	平年	11.2	12.0	13.5	29.2	36.6	43.0	65.1	63.7	69.7
飯田	本年	16.0	17.2	19.3	44.5	128.0	121.0	78.2	66.9	60.2
	平年	15.7	16.6	18.1	48.8	59.3	45.7	64.1	66.4	74.8

前線や低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化したが、中旬中頃と下旬後半は大雨となった日があった。

### 1 麦

#### (1) 病害虫の発生状況

##### ① 麦類赤かび病

巡回調査では、南信地域の一部の小麦で発生がみられ、発生度及び発生地点率は平年と比べ高かった。また、巡回調査以外では、北信地域の一部の小麦ほ場で発生がみられた。

##### ② さび病

巡回調査では、東信地域、北信地域の一部のほ場で発生がみられたが、発生度及び発生地点率は平年と比べ低かった。また、巡回調査以外では、南信地域の一部の小麦ほ場で、発生がやや多くみられた。

##### ③ うどんこ病

巡回調査では、東信地域、中信地域の一部のほ場で発生を確認したが、被害程度及び発生地点率は平年と比べ低かった。

##### ④ コムギ縞萎縮病、コムギ萎縮病

中信地域、北信地域の一部のほ場で発生がみられ、北信地域では発生面積が前年と比べ多かった。その他の地域では発生はみられなかった。

### 2 水稲

#### (1) 病害虫の発生状況

##### ① 育苗期の細菌性病害

中信地域の一部のほ場で、もみ枯細菌病の発生がやや多くみられたが、発生程度は平年と比べ平年並～やや低かった。

##### ② 苗立枯病

中信地域の一部のほ場で、ピシウム菌等による苗立枯病の発生がやや多くみられたが、発生程度は平年並であった。

##### ③ ばか苗病

北信地域の一部の苗床で発生がみられたが、発生程度は平年と比べ低かった。

##### ④ ニカメイガ

大きな被害を受けた時代と比較すると、全体の発生程度は低下しているが、近年は東信地域の一部で、発生程度が高まっている。

上田市に設置した予察灯への誘殺は、5月第1半旬から誘殺され、発生時期は平年と比べやや早かった。5月の誘殺頭数は平年並であった(第1表)。

小布施町に設置したフェロモントラップの調査では、5月第4半旬から誘殺されたが、5月の誘殺頭数は平年並～やや多かった(第2表)。

第1表 ニカメイガ越冬世代成虫の予察灯への誘殺数(上田市)

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
平年	0.1	0.2	0.9	2.0	2.8	7.7
本年	1	1	4	2	5	4

平年は2014年から2023年までの平均値。

第2表 ニカメイガ越冬世代成虫のフェロモントラップ誘殺消長(小布施町)

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
平成元年～30年の平均	0.5	0.4	2.6	8.2	21.7	36.7
平年	0	0	0	0.3	0	0.4
本年	0	0	0	2	0	1

平年は2014年から2023年までの平均値。

##### ⑤ イネミズゾウムシ

アメダス気象データを用いて、有効積算温度から算出した越冬地からの半数脱出推定時期は、平年と比べ早い地点が多かった(第3表)。

巡回調査では、中信地域で成虫による食害の発生程度が平年と比べ高かった。その他の地域は平年並であった。

第3表 イネミズゾウムシ越冬後成虫の越冬地からの半数脱出推定時期

アダス地点	佐久	上田	諏訪	伊那	飯田	木曾福島	松本	大町	長野	飯山
平年	5/12	5/7	5/17	5/8	5/5	5/15	5/6	5/23	5/9	5/15
本年	5/5	4/30	5/7	4/29	4/28	5/5	4/29	5/15	4/29	5/5
(平年差)	(-7)	(-7)	(-10)	(-9)	(-7)	(-10)	(-7)	(-8)	(-10)	(-10)

平年は2014年から2023年までの平均値。

JPP-NET『有効積算温度計算シミュレーションversion2』により算出。

### 3 りんご

#### (1) 生育概況

6月1日の果実肥大は、平年と比べ大きい傾向である(第1表)。

第1表 りんごの果実肥大状況 須坂市(果樹試験場)

調査日	つがる								ふじ							
	横径(mm,%)				縦径(mm,%)				横径(mm,%)				縦径(mm,%)			
	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比	平年	前年	本年	平年比
6/1	29.2	34.1	31.5	108	28.5	34.0	31.8	112	27.1	34.1	31.4	116	27.2	33.7	29.9	110
6/15	42.8	47.8	44.4	104	39.4	45.1	42.7	109	38.5	45.4	42.0	109	37.4	44.8	41.9	112

平年は2009年~2023年までの平均値。

#### (2) 病害虫の発生状況

##### ①うどんこ病

巡回調査では、北信地域の1ほ場で発生がみられた。

##### ②斑点落葉病

巡回調査では、北信地域の2ほ場で発生がみられた。

##### ③黒星病

巡回調査では、花そう葉及び新梢葉ともに、発生はみられなかった。

##### ④腐らん病

巡回調査では、東信地域の2ほ場(わい化樹)で胴腐らん、北信地域の2ほ場で枝腐らんの発生がみられた。

##### ⑤ハダニ類

巡回調査では、ハダニ類の寄生はみられなかった。

#### ⑥キンモンホソガ

須坂市(果樹試験場)のフェロモントラップ調査では、5月第4半旬から第6半旬の誘殺頭数は平年と比べ多かった(第2表)。

第2表 キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長(頭)

須坂市(果樹試験場)

月 半旬	5月					
	1	2	3	4	5	6
平年	2.4	0.6	0.1	0.3	1.6	11.9
前年	4	0	0	0	3	11
本年	1	1	0	4	35	83

平年は2014年から2023年までの平均値。

#### ⑦ハマキムシ類

巡回調査では、果実への寄生はみられなかった。

須坂市(果樹試験場)のフェロモントラップ調査では、5月の誘殺はなかった(第3表)。

第3表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長(頭)

須坂市(果樹試験場)

月 半旬	5月					
	1	2	3	4	5	6
平年	0	0	0.1	0.1	0.4	0.5
前年	0	0	0	0	0	0
本年	0	0	0	0	0	0

#### ⑧ナシヒメシンクイ

巡回調査では、果実への寄生はみられなかった。

#### 4 なし

##### (1) 生育概況

6月15日までの果実肥大は、平年並～やや大きい（第1表）。

第1表 なしの果実肥大状況（mm） 高森町（南信農業試験場）

品 種	区分	5月15日		6月1日		6月15日	
		横径	縦径	横径	縦径	横径	縦径
二十世紀	平年	16.4	17.6	26.5	26.1	32.9	31.3
	前年	21.1	22.5	30.8	30.3	36.7	35.2
	本年	20.0	22.1	27.4	28.2	34.4	33.4
幸 水	平年	15.2	14.4	26.7	23.3	34.1	29.2
	前年	19.6	18.4	30.0	26.1	36.6	31.4
	本年	17.2	15.8	26.7	24.0	34.4	29.6
豊 水	平年	18.2	18.5	28.4	26.8	35.1	32.6
	前年	21.6	21.1	31.4	29.0	37.8	34.8
	本年	19.5	19.7	27.3	26.3	33.1	31.7

平年は2001年から2020年までの平均値（幸水は長果枝と短果枝の平均）。

##### (2) 病害虫の発生状況

###### ①黒斑病

巡回調査では、発生がみられなかった。

高森町（南信農業試験場）の調査では、越冬病斑上の胞子形成度は平年と比べ少なく推移した（第2表）。アルタナリア属菌の胞子捕捉数は4月初旬から飛散が確認され、5月中旬までは概ね平年並、5月下旬は平年と比べ多かった（第3表）。

殺菌剤無散布の果実及び新梢葉の発病は5月下旬からみられ、6月初旬以降は平年と比べ増加がみられた（第4、5表）。

第2表 越冬病斑上の胞子形成度 高森町（南信農業試験場）

区分	4月			5月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	13.0	17.0	23.8	21.9	30.7	31.2
前年	0	3.3	5.0	6.7	6.7	8.3
本年	3.3	11.5	8.3	5.6	10.0	40.0

平年は2014年から2023年までの平均値。

値100の場合は1個の病斑に100個以上分生子を形成している状態。

第3表 アルタナリア属菌の捕捉胞子数（個） 高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平年	6.5	20.1	26.6	40.3	69.0	50.9
前年	6	53	48	23	19	50
本年	13	14	37	59		

平年は2014年から2023年までの平均値。18mm×18mm当たりの胞子数（個）。

※空欄は調査前である。

第4表 果実の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹）（%）

高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0	0	1.2	3.7	8.5	19.0
前年	0	0	1.9	18.8	41.6	69.6
本年	0	0	1.0	9.5	11.1	

平年は2014年から2023年までの平均値。

第5表 新梢葉の発病（「二十世紀」殺菌剤無散布樹）（%）

高森町（南信農業試験場）

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	0.1	0.3	3.0	6.2	10.6	21.6
前年	0	0	9.6	11.2	20.3	30.2
本年	0	0.5	0.9	11.4	10.5	

平年は2014年から2023年の平均値。

###### ②黒星病

巡回調査では、発生がみられなかった。

高森町（南信農業試験場）の調査では、子のう胞子の飛散は5月第3半旬までは平年と比べ少なく、第4半旬及び第6半旬は多かった（第6表）。殺菌剤無散布の果実及び果そう葉の発病は、6月15日までは平年に比べ低く推移している（第7、8表）。

第6表 ナシ黒星病 子のう胞子飛散消長 (個)

高森町 (南信農業試験場)

区分	4月						5月					
	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
平年	6	147	338	962	3,324	1,922	3,478	3,037	1,153	1,463	714	275
前年	0	1	1	4	1	36	0	249	70	3	242	940
本年	0	47	0	1	17	504	62	202	830	2,226	350	3,764

平年は2014年から2023年までの平均値。罹病葉から飛散する子のう胞子数 (個)。

第7表 果実の発病 (%)

高森町 (南信農業試験場)

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	13.8	26.7	29.1	40.3	49.4	52.7
前年	10.3	22.5	13.8	59.8	65.4	78.2
本年	0.3	0.5	1.3	1.2	1.2	

平年は2014年から2023年までの平均値。「幸水」の殺菌剤無散布樹で調査。

第8表 果そう葉の発病 (%)

高森町 (南信農業試験場)

区分	5月			6月		
	5日	15日	25日	5日	15日	25日
平年	1.4	5.7	20.7	35.3	51.6	59.6
前年	0	5.3	10.1	33.0	61.6	71.5
本年	0	0.0	4.0	6.9	5.9	

平年は2014年から2023年までの平均値。「幸水」の殺菌剤無散布樹で調査。

③赤星病

巡回調査では、発生はみられなかった。

④ハダニ類

巡回調査では、中信地域の一部のほ場でナミハダニの寄生がみられた。

⑤リンゴコカクモンハマキ

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町 (南信農業試験場) のフェロモントラップ調査では、5月第3半旬から誘殺され、誘殺頭数は平年並であった (第9表)。

第9表 リンゴコカクモンハマキのフェロモントラップ誘殺消長 (頭)

高森町 (南信農業試験場)

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
平年	0	0	0.1	0.3	1.3	1.2
前年	0	0	0	0.5	1.5	0.5
本年	0	0	1	0	1	0.5

平年は2014年から2023年までの平均値。

⑥ナシヒメシクイ

巡回調査では、芯折れ被害はみられなかった。

高森町 (南信農業試験場) でのフェロモントラップ調査では、誘殺頭数は平年並であった (第10表)。

第10表 ナシヒメシクイのフェロモントラップ誘殺消長 (頭)

高森町 (南信農業試験場)

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
平年	2.7	1.4	0.7	0.7	0.4	0.1
前年	1	0	0.5	0	0	0
本年	5	0.5	2.5	0	0	1

平年は2014年から2023年までの平均値。

⑦カメムシ類

巡回調査では、発生はみられなかった。

高森町 (南信農業試験場) のフェロモントラップ調査では、クサギカメムシの誘殺はなかったが、チャバネアオカメムシは5月第3半旬に誘殺され、5月第5半旬の誘殺頭数は平年と比べ多かった (第11表)。

第11表 カメムシ類の誘殺状況 (頭)

高森町 (南信農業試験場)

区分	月 半旬	5月					
		1	2	3	4	5	6
クサギカメムシ	平年	0	0	0	0	0	0
	前年	0	0	0	0	0	0
	本年	0	0	0	0	0	0
チャバネアオカメムシ	平年	0.1	0.1	0.2	0.9	0.9	0.7
	前年	0	0	0	0	0	0
	本年	0	0	1	2	20	7

平年は2014年から2023年までの平均値。

## 5 もも

### (1) 生育概況

6月15日までの果実肥大は、「あかつき」「川中島白桃」とともに、平年と比べ大きい傾向である（第1表）。

第1表 ももの果実肥大状況 須坂市（果樹試験場）

品種名	月日	横径(mm)			縦径(mm)			側径(mm)			平年比		
		平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	横径	縦径	側径
あかつき	6/1	31.7	39.8	39.1	36.3	42.4	44.8	27.3	35.4	34.9	123	123	128
	6/8	39.4	45.6	45.4	42.8	47.6	50.4	35.3	43.2	41.7	115	118	118
	6/15	46.7	51.4	52.5	44.7	52.8	48.0	41.1	50.5	45.7	107	123	111
川中島白桃	6/1	28.8	37.7	39.6	33.4	40.6	42.9	24.3	32.5	33.3	137	129	137
	6/8	37.5	46.4	46.1	40.7	47.9	49.1	32.3	41.1	40.0	123	121	124
	6/15	43.0	51.9	49.7	45.1	51.9	51.5	38.4	47.8	44.0	115	114	116

平年は、あかつきは2011年から2023年まで、川中島白桃は2004年から2023年までの平均値。

### (2) 病害虫の発生状況

#### ①せん孔細菌病

巡回調査では、東信地域、北信地域の全てのほ場で葉に発生がみられた。

#### ②縮葉病

巡回調査では、東信地域の1ほ場で発生がみられた。

#### ③ハダニ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

#### ④モモハモグリガ

巡回調査では、被害葉がみられなかった。

須坂市（果樹試験場）のフェロモントラップ調査では、5月の誘殺頭数は平年並～やや少なかった（第2表）。

第2表 モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（頭） 須坂市（果樹試験場）

月	5月					
	1	2	3	4	5	6
平年	4.8	0.9	2.2	1.5	4.1	21.3
前年	5	0	3	10	7	60
本年	0	0	0	2	4	4

平年は2014年～2023年までの平均値。

#### ⑤アブラムシ類

巡回調査では、寄生はみられなかった。

#### ⑥カメムシ類

巡回調査では、被害果実はみられなかった。

須坂市（病害虫防除所）のフェロモントラップ調査（※日本すもも）では、5月第5、第6半旬の誘殺頭数は平年と比べやや多かった（第3表）。

第3表 チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺消長（頭） 須坂市（病害虫防除所）

区分	5月					
	1	2	3	4	5	6
平年	0.9	0.4	0.6	1.3	1.3	1.8
前年	0	2	0	3	0	4
本年	1	1	0	2	5	4

平年は2015年から2023年までの平均値。 ※日本すももの園地に設置

## 6 ぶどう

### (1) 生育概況

須坂市（果樹試験場）の満開期は平年と比べ6日早く、落花期は平年と比べ5日早かった（第1表）。

第1表 ぶどうの生育状況 須坂市（果樹試験場）

品種名	区分	発芽期	展葉期	開花期	満開期	落花期
巨峰	平年	4/27	5/3	6/8	6/11	6/14
	前年	4/21	4/29	6/6	6/9	6/13
	本年	4/23	4/28	6/1	6/5	6/9
	(平年差)	(-4)	(-5)	(-7)	(-6)	(-5)

平年は1991年から2020年までの平均値。

### (2) 病害虫の発生状況

#### ①灰色かび病

巡回調査では、新梢及び葉に発生はみられなかった。

#### ②べと病

巡回調査では、新梢及び葉に発生はみられなかった。

#### ③うどんこ病

巡回調査では、花穂及び新梢に発生はみられなかった。

#### ④黒とう病

巡回調査では、新梢及び葉に発生はみられなかった。

## 7 うめ

### (1) 病害虫の発生状況

#### ①かいよう病

巡回調査では、南信地域の一部のほ場で、果実に発生がみられた。

#### ②黒星病

巡回調査では、果実に発生はみられなかった。

## 8 野菜・花き

### (1) 病害虫の発生状況

#### ①トマトの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

#### ②きゅうりの病害

巡回調査では、中信地域及び北信地域の施設（半促成）栽培で、うどんこ病の発生がみられた。

#### ③すいかの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

#### ④いちごの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

#### ⑤キャベツ、ブロッコリー、はくさいの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

#### ⑥レタスの病害

巡回調査では、東信地域、中信地域で、すそ枯病の発生がみられた。また、東信地域で斑点細菌病の発生がみられた。

#### ⑦セルリーの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

#### ⑧アスパラガスの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

#### ⑨タマネギの病害

巡回調査では、中信地域、北信地域でべと病の発生がみられた。また、中信地域でボトリチス葉枯病、北信地域で黒斑病の発生がみられた。

#### ⑩ねぎの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

#### ⑪ばれいしょの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

#### ⑫きくの病害

巡回調査では、病害の発生はみられなかった。

### ⑬アザミウマ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、中信地域の施設（半促成）栽培トマト、中南信地域、北信地域の施設（半促成）栽培きゅうり、中信地域のキャベツ、南信地域、北信地域のアスパラガスの一部ほ場、その他、たまねぎ・ねぎでアザミウマ類の寄生がみられた。

青色粘着トラップによるアザミウマ類の誘殺頭数は、塩尻市で5月第3半旬から、長野市で5月第5半旬から急増し、平年と比べかなり多い誘殺頭数であった（第1表）。

第1表 アザミウマ類の青色粘着トラップによる誘殺消長 (頭)

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.3	0.0	0.3	1.2	0.3	1.2
		本年	1	0	1	1	2	13
諏訪郡富士見町 (防除適期決定ほ)	きく	平年	0.9	1.1	1.6	7.8	11.3	4.6
		本年	1	0	2	0	3	8
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	0.6	0.6	2.6	2.6	1.4	2.0
		本年	4	5	30	70	58	36
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	0.3	0.0	0.5	0.3	0.7	1.2
		本年	1	0	0	0	30	41

平年は富士見町・塩尻市では2017年から2023年までの平均値。上田市・長野市では2018年から2023年までの平均値。

### ⑭アブラムシ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、南信地域の施設栽培きゅうり、中信地域のキャベツ及びはくさいの一部のほ場、南信地域のアスパラガスの一部ほ場で寄生がみられた。

黄色粘着トラップによるアブラムシ類有翅虫の誘殺頭数は、塩尻市（地区発生予察ほ（レタス））で、5月第6半旬に急増し、平年の4倍近い誘殺頭数であった。その他の地点の誘殺頭数は概ね平年並であった（第2表）。

第2表 アブラムシ類有翅虫の黄色粘着トラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	1.4	5.4	10.7	11.5	11.3	15.8
		本年	0	2	0	5	13	1
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	8.6	5.9	6.3	13.3	22.0	22.9
		本年	8	5	9	15	19	29
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.2	0.8	1.8	2.5	5.7	5.0
		本年	9	3	3	3	3	3
富士見町富士見 (地区発生予察ほ)	きく	平年	3.6	6.3	8.9	50.0	44.0	41.0
		本年	7	6	21	15	16	51
塩尻市洗馬 (地区発生予察ほ)	レタス	平年	3.5	4.2	10.3	18.7	20.5	25.0
		本年	3	2	9	16	14	93
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	0.9	1.6	3.6	5.4	6.4	10.4
		本年	4	0	2	5	6	4

平年は塩尻市・小諸市・富士見町では2017年から2023年までの平均値。

上田市・長野市では2018年から2023年までの平均値。

⑮コナジラミ類類（野菜・花き全般）

巡回調査では、北信地域の施設（半促成）栽培トマトで、オンシツコナジラミの寄生がみられた。

⑯ハモグリバエ類（野菜・花き全般）

巡回調査では、中信地域のセルリー、たまねぎ、南信地域のねぎ、東信地域のきくのは場で寄生がみられた。

⑰ジュウシホシクビナガハムシ

巡回調査では、寄生はみられなかった。

⑱コナガ（アブラナ科野菜）

巡回調査では、東信地域のキャベツ、ブロッコリーの一部のほ場、中信地域のキャベツの一部のほ場で寄生がみられた。

フェロモントラップによる調査では、誘殺頭数は塩尻市宗賀（県発生予察ほ）、東筑摩郡朝日村（地区発生予察ほ）、長野市上ヶ屋（地区発生予察ほ）で、平年と比べ少なかった。小諸市（県発生予察ほ）では平年と比べやや多く、諏訪郡原村（防除適期決定ほ）では、平年と比べかなり多かった。上田市（地区発生予察ほ）では概ね平年並であった。

第3表 コナガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	6.9	11.6	14.1	17.1	17.2	18.5
		本年	2	2	2	13	0	1
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	6.9	7.0	14.4	17.0	14.7	26.1
		本年	23	8	8	26	15	27
上田市菅平 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	0.1	0.1	0.1	0.3	0.7	0.1
		本年	0	0	0	1	0	0
諏訪郡原村 (防除適期決定ほ)	ブロッコリー	平年	5.2	8.1	16.4	16.6	26.8	21.2
		本年	29	23	36	33	45	64
東筑摩郡朝日村 (地区発生予察ほ)	はくさい	平年	11.4	12.6+	14.6	19.4	16.2	20.4
		本年	2	2	3	4	5	7
長野市上ヶ屋 (地区発生予察ほ)	キャベツ	平年	3.9	9.4	22.8	23.3	33.2	33.2
		本年	0	2	2	4	8	34

平年は2014年から2023年までの平均値。朝日村は2019年から2023年までの平均値。

⑲オオタバコガ

巡回調査では、被害はみられなかった。

フェロモントラップによる調査では、塩尻市宗賀（県発生予察ほ）で、誘殺頭数は5月第4半旬から急増し、平年と比べ多かった。小諸市山浦（県発生予察ほ）では、誘殺頭数は5月第2半旬以降、平年と比べ多かった。須坂市小河原（農業試験場）では、概ね平年並の誘殺頭数であった（第4表）。

第4表 オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 (県発生予察ほ)	キャベツ・ はくさい	平年	0.3	0.6	1.0	1.1	2.4	2.5
		本年	3	0	1	16	14	10
小諸市山浦 (県発生予察ほ)	レタス	平年	1.0	1.2	2.2	2.4	2.3	5.3
		本年	1	5	12	8	14	17
須坂市小河原 (農業試験場)	とうもろこし ・水稲	平年	0.1	0.1	0.8	0.4	0.1	1.0
		本年	0	0	1	0	0	1

平年は2014年から2023年までの平均値

⑩ヨトウガ類

フェロモントラップによる調査では、塩尻市（県発生予察ほ）で、ヨトウガの誘殺頭数は5月第1半旬から平年と比べ多く、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウの誘殺頭数は概ね平年並であった。

また、須坂市（農業試験場）では、ヨトウガの誘殺頭数は概ね平年並、ハスモンヨトウの誘殺頭数は、5月第5半旬以降は平年と比べ多かった。

長野市（地区発生予察ほ）のシロイチモジヨトウの誘殺頭数は、概ね平年並であった。（第5、6、7表）。

第5表 ヨトウガのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 （県発生予察ほ）	キャベツ・ はくさい	平年	1.2	1.8	4.3	8.8	9.2	13.1
		本年	4	8	15	16	14	18
須坂市小河原 （農業試験場）	とうもろこし・ 水稻	平年	5.7	5.9	7.5	6.7	6.4	5.3
		本年	5	5	3	6	3	1

平年は2014年から2023年までの平均値。

第6表 ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 （県発生予察ほ）	キャベツ・ はくさい	平年	0.0	0.1	0.0	0.7	1.0	0.9
		本年	0	0	0	1	1	2
須坂市小河原 （農業試験場）	とうもろこし ・水稻	平年	0.1	0.0	0.1	0.1	0.6	1.2
		本年	0	0	2	2	11	6
上田市菅平 （地区発生予察ほ）	はくさい	平年	0.0	0.1	0.1	1.0	0.7	0.3
		本年	0	0	0	0	0	2

平年は2014年から2023年までの平均値。

第7表 シロイチモジヨトウのフェロモントラップによる誘殺消長（頭）

設置場所	品目	区分	5月					
			半旬	1	2	3	4	5
塩尻市宗賀 （県発生予察ほ）	キャベツ・ はくさい	平年	0.0	0.0	0.5	0.2	0.2	0.3
		本年	1	0	1	0	0	0
長野市上ヶ屋 （地区発生予察ほ）	キャベツ	平年	0.0	0.0	0.2	0.0	0.2	0.2
		本年	0	0	0	0	0	0

平年は、塩尻市2014年から2023年までの平均値。長野市2018年から2023年までの平均値。

⑪ハダニ類

巡回調査では、南信地域の施設栽培きゅうりで、5月上旬に寄生がみられた。